



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 令和3年4月8日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課
085-0805
釧路市黒金町7丁目5
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyouu/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

くしろ「木づな」プロジェクト

釧路市内の児童館・児童センター・放課後児童クラブへ「カラクシー」を配布

【概要】

くしろ木づなプロジェクトでは、地元産木材の利用推進や、森林資源の循環利用の普及啓発を目的として、「商品企画研究会」で開発した「カラクシー」を釧路市内の児童館・児童センター・放課後児童クラブ（計22箇所）へ配布しました。

■場所 釧路市内の各児童館・児童センター・放課後児童クラブ

【実施内容】

くしろ木づなプロジェクトでは令和2年度から「商品企画研究会」を設置し、様々な木製品の開発を進めています。その開発中の木製品のひとつである「カラクシー」は、1～10までの数字が書かれたハンドサイズの木柱を並べ、大またで5歩離れた場所から同じサイズの木柱を投げ、倒れた木柱の点数の合計を競うゲームです。5～10フレーム繰り返しますが、倒れた木柱は遠い方に起こすこととしており、フレームを経るほど木柱が遠く広がっていきます。そのため、遠くの高得点を狙うか、近くの低得点を狙うかといった戦略も重要になってきます。木柱を投げるという単純な動作であることから、子供から大人まで楽しむことができます。

「カラクシー」という名称は、カマツの「カラ」と釧路の「クシ」を組み合わせ、木柱が広がっていく様子をギャラクシーにも見立てて名付けました。

このたび、釧路市内の児童館・児童センター・放課後児童クラブへ「カラクシー」を配布し、実際に子供たち等に楽しんでもらうことで、釧路のカマツに親んでもらうとともに、商品化に向けた改良に取り組んでいきたいと考えています。

くしろ木づなプロジェクトでは、生活の中で地域材がもっと活用されていくように、今後もこのような取組を引き続き進めていきたいと考えています。



専用箱はトドマツで作りました

遊び方のイメージです

<釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、2005年(平成17年)の3市町合併により、森林面積は約10万ha(全道の市で1位)。まさに釧路市は「森林都市」。
「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を2010年(平成22年)11月設置しました。
これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部産業推進室

(担当) 田戸岡 尚樹

TEL : 0154-31-4550

FAX : 0154-22-8972